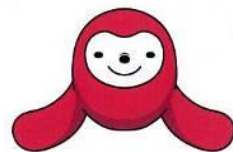


NPO ひろば



第159号

2025年2月20日発行

発行：高槻市市民公益活動サポートセンター

〒569-0804高槻市紺屋町3-1-105

Tel 072-668-1781

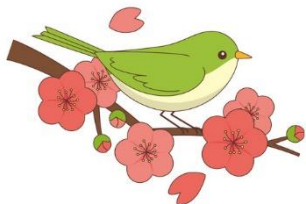
E-mail kyodo105@themis.ocn.ne.jp

Fax 072-668-1782

<http://www.takatsuki-kouekisupport.com/>



講座のお誘い



今年一番の寒波が過ぎ、梅の便りが待ち遠しいこの頃です。
春のイベントとして、「ひとりぼっちのいないまちをつくる」講演会、
「小学生環境講座たけのこの森」を開催します。
どうぞ、ふるってご参加ください。

地域から広がる第三の居場所

「ひとりぼっちのいないまちをつくる」講演会

日時：2025年3月8日(土) 10:00~12:00

場所：クロスパル高槻 5階視聴覚室

内容：①記念講演

講師 志水宏吉さん（日本教育学会・全国理事）

②市域全体の取り組みについての実践報告

岡本工介さん（一般社団法人タウンスペースWAKWAK・事務局長）

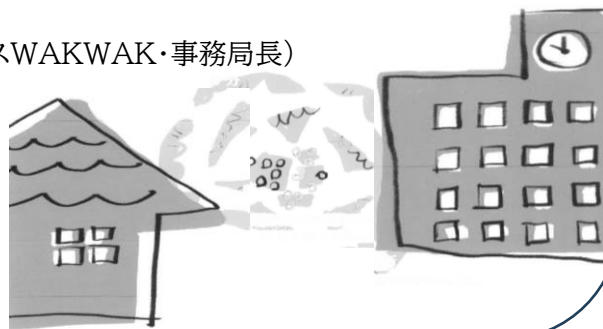
③高槻市における居場所調査結果

新谷龍太郎さん（同志社女子大学・准教授）

定員：100名 ※無料

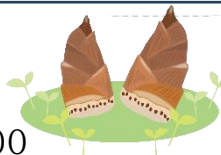
協催：一般社団法人 タウンスペースWAKWAK

お申込みは、668-1781
サポートセンターへ



小学生環境講座～里山を知る～

たけのこの森



日時：2025年4月27日(日) 9:30~12:00

場所：阪急上牧駅周辺

対象：小学生とその家族(市内在住・在学・在勤の方)

※25組(申し込みが多い場合は抽選)

※無料

団体登録書の変更は、
ありませんか？
変更のあった団体は、
サポートセンターまで！

詳細は後日！

2025年度は、役員改選の年になります。役員会において、長谷川隆さん（火串会）、中村淑子さん（NPO法人SEAN）、杉本真一さん（NPO法人ノート）を推薦委員として承認し、推薦委員会が設置されました。

新年第一号の今回は特別版。高槻市市民公益活動サポートセンターに登録されている団体は212(2025.2.1現在)。毎月1~2のペースで新規登録があります。そうした中で長く活動を継続され、周年行事を迎えられる(られた)団体さんがおられます。

これからの抱負を寄せてくださった団体さんをご紹介します。

学習創造フォーラム



NPO法人 FiLCは20周年

私たち学習創造フォーラム(FiLC)は川西町にあるLINK-HOUSEを拠点に活動しています。子どもの居場所作りや高齢者向けのスマホ教室、SDGsをテーマにしたワークショップ、高校生の探究学習の支援、国際協力活動など、活動の内容は多岐にわたります。私達が設立当初から大事にしているテーマは「自律的な学びを生む学習環境をどのようにデザインするか」ということです。様々な活動を通して、FiLCに関わった人たちがより愉しく自律的に学ぶことができる機会をこれからもたくさん作っていきたくと思っています。

NPO法人 高槻まごころは30周年



高槻まごころは1994年の冬、新潟まごころとの出会いから始まりました。

その年の4月1日に、有償ボランティア団体として設立。1996年自宅開放にて週2回のサロンも相互扶助の形をとり楽しく活動してまいりました。

NPO法、介護保険事業と時代の真ただ中に入り「人として生まれ育ちこの街高槻で住み慣れた隣近所友人の中で家族とともに暮らすことがひとつの幸福」をスローガンに、在宅サービスにこだわり続けました。

その後、独居世帯が増え、犯罪や災害への心配など、介護相談の中にも多くなっている感覚です。地域だからこそできる事をこれからも考えていきたいと思っています。

民舞胡蝶と改め30周年



「私たちは、日本全国の民謡民舞を学び、日々楽しんで踊り練習に励むグループです」

民舞胡蝶と改め30年、立ち上げの郷土民舞研究会から数えると37年になります。10代から80代まで幅広い年齢層の仲間が集まり、家族のような温かい雰囲気の中で活動を続けています。

今城塚公民館や北清水公民館で定期的に活動をし、踊りを披露する場としては公民館まつりを始め、安満遺跡イベント「観月会」、地域福祉団体主催の敬老会や福祉施設主催の盆踊り大会などがあります。

日本の伝統文化を楽しみながら守り、次世代へつなげることを目指しています。

初心者の方も大歓迎！一緒に踊りで日本の魅力を感じてみませんか？お気軽にお問い合わせください！



NPO法人 ナルク高槻・島本 は30周年

昨年(2024年)ナルク高槻・島本は設立30周年を迎えました。ナルクは全国組織(国内74拠点、海外4拠点)の会員制ボランティア団体です。「助けあい(預託活動)、奉仕、自立」の3本柱をモットーに「生きがいを見つけ」「生涯現役」を合言葉に人生100年時代をどう過ごすか?を問いつつ、困った時は気兼ねなく仲間同士で助けあい、また自分で出来ることで社会・地域で役に立ちたいとの思いで、日々活動しています。「ボランティアでコミュニティに愛と感謝を込めて」



チャムきつずぱーく は30周年

チャムきつずぱーくは、子育て中に「あったらうれしいもの」「今、したいこと」「子育て中だからできること、気づけること」を基に活動していきこうと開始したグループです。

「～ちゃんのママ」ではない、一個人としての関わりも大切に「あなたのしたいを応援します」と起業のきっかけづくりなどもお手伝いしてきました。

2007年から高槻市つどいの広場事業を担うに当たり、名前をWSGチャムから「チャムきつずぱーく」として活動を新たにしました。現在は、子育て中に気楽に集える場所としてのつどいの広場や、そこでの子育てイベント、一時預かり保育などを行っています。

「子育てってたのしいよ」を合い言葉に、育児本やネットでは解決しない悩みなどを気楽に相談できる場所として、またこどもとゆったりと遊んだり、情報交換できる場として、「育児のほっとできる」ステーションの役割を続けられたらうれしいです。

NPO法人 三島子ども文化 ステーションは50周年



すべての子ども達に豊かな文化を、地域でたくましく育つ活動を！」と1974年「高槻おやこ劇場」が誕生し、50年を迎えました。50年の歩みを振り返る映像や、カンティ・サクレさんのミニコンサート、多田千尋さんの講演会を行い、これまで支えてくださった方々から温かいお言葉をたくさんいただきました。これからも子育て支援や豊かな子ども文化に貢献する活動を続けていきたいと思っています。

登録団体 インフォメーション

(敬称略)

このページは、登録団体が主催もしくは協力する事業を、団体HPや持ち込み情報より収集し掲載しています。

2/23
(日)

-起立性調節障害と紡いでいく-

今日も明日も負け犬

上映会 & カラフルおしゃべり会 (親の会)



起立性調節障害の女子高校生
監督が、自身の壮大な過去を
実写化。
起立性調節障害を生きた当事
者の方に繊細な気持ちで丁寧
に描かれていて、とても心に響
きます。

主演、原作、監督、脚本
全員高校生!?

- 日時 2025年2月23日(日)
1部：上映会 13:00~14:10(定員30名)
2部：親の会 14:20~16:30(定員10名)
- 場所 クロスパル高槻4階402会議室
- 参加費 1部：無料 2部：300円
- 申込 右のQRコードで → →
- 問合せ 起立性調節障害 カラフル
od-colorful@outlook.com



3/2 (日)

地域・子ども「ポツンと食堂」

お餅つき・ひな祭り

薪で餅米を蒸して臼と杵を使って100%手仕事の餅つきです。

つきたてのお餅を皆で食べよう!

ひな祭りの工作&ビンゴ大会もあります!



- 日時 2025年3月2日(日)
10:30~15:00
- 場所 「ポツンと食堂」
高槻市市能大谷12
- 参加費 子ども200円 大人300円
- 持ち物 水筒持参をお願いします
- 申込 2月23日(日)までに、電話かメールで
- 問合せ 鳴川宏 Tel 080-5340-9919
mail hiroshi040530@gmail.com

募集中

脳を活性化する

シニアのための音楽レクリエーション

～60歳から始める脳トレク～

この事業は高槻市社会福祉協議会の2024年度善意銀行の払出金を活用しています。

2026年以降、高齢者65歳以上のうち5人に1人が認知症と言われています。認知症予防には人との交流、適度な運動、好きなことを続けることが大切です



- 日時 毎月 第2・第4火曜日 10:00~10:40
- 場所 とらいさぼーと
高槻市上田辺町6-23 上田辺薩摩ビル301
- 費用 1回 500円 初回無料体験実施中
- 問合せ とらいさぼーと
Tel 090-2060-0845
受付時間 平日9:00~12:00
(チラシを見たお伝え下さい)

3/30(日)

中村滋延のピアノ曲でたどる

無手勝流 現代音楽史 I

現代クラシック音楽の創作現場の一端を覗き その魅力を感じながら作曲家自身によるホンネの楽しいおしゃべりを交えたコンサート

- 日時 2025年3月30日(日)
プログラムA 15:00
プログラムB 16:30
- 出演者 お話し 中村滋延
演奏 中川賢一
- 会場 摂津響Saal
JR高槻駅北口 高槻市営バスターミナル『上の口・原大橋行き』か「榎田方面」行きに乗車【上の口】で下車、徒歩1分
- 費用 プログラム A,B 3,000円
A+B通し料金4,000円
- 予約/問合せ 摂津響Saal
080-3031-4311(山口)



募集中

「こどものまち」を一緒に創り上げていく「大人スタッフ」を募集!!

「こどものまち」とは、一定期間だけ設けられる仮想都市で、子どもたちが自ら運営する仮想のまちで働き、遊びながら社会の仕組みを学びます。



こどものまち「ミニたかつき」活動計画

- 現在 ~2025年5月まで 大人スタッフ募集活動
- 6月 スタッフ養成講座 (3回予定) と、「こどもスタッフ (小5~中3)」募集活動
- 7月~ 月1回ペースで「こどもスタッフ実行委員会」(大人スタッフも可能な限り参加して援助します)
- 9月~ 当日限り参加の「こども市民」募集活動
- 2026年1月下旬 室内のホールを1日貸切って本番
- 申込/ こどものまち「ミニたかつき実行委員会」
問合せ Tel 090-3975-6600



申込フォーム⇒



⇐活動例YouTube.

□第37回 地域福祉を支援する

わかば基金 NHK厚生文化事業団

地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための支援をしている。

2つの方法で、福祉活動や被災地の復旧・復興などに取り組むボランティアグループやNPOを応援する。

《募集部門》

①支援金部門

国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ、より活動を広げるために必要な物品等をそろえたいというグループ。

- ・地域の高齢者や障がい当事者、生活困窮者、困難を抱えた人々の日常生活の支援や、さまざまな福祉サービスの提供。（在宅か施設かは問わない）
- ・障がい当事者の社会参加や就労の場づくりの促進、またその活動の支援。

など

②PC・モバイル端末購入支援部門

地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、PCやモバイル端末を使用することで、より高齢者や障がい当事者に役立ち、活動の充実を図れるグループ。

- ・地域の高齢者や障がい当事者、生活困窮者、困難を抱えた人々などへのパソコン指導サービス。（在宅か施設かは問わない）
- ・福祉情報の提供やネットワークづくりを通じての地域福祉活動の向上。

など

《助成額》

- ①最高50万円（15グループほどを予定）
- ②最高10万円（30グループほどを予定）

《応募方法》

申請書はホームページからダウンロードして。郵送のみ



《応募・問合せ先》

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」
〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1
TEL 03-3476-5955（平日10：00～17：00）
mail info2@npwo.or.jp

《応募期間》

2025年3月27日（木）必着
（郵送のみ）



2月の初めに、NPO法人CAPみしま・大阪の木下さんが、「ライオンズクラブ高槻基金贈呈式に行ってきました。ひろば4面を見て応募しました！」

と、うれしいご報告を持ってきてくださいました。

受賞団体5団体のうち、CAPみしま・大阪ともう1つサポセンの登録団体が入っていました。

少しでもお役に立ちますように、と思いながら助成金情報を調べています。「NPOひろば」に間に合わない時は、該当団体にお知らせするようにもしています。

情報を含め、記入方法などについてのお手伝いが必要ななら、遠慮なくお声がけください。

★よければ助成金の獲得情報をご連絡ください！

助成金インフォメーション

詳しくはそれぞれの助成元団体のホームページ募集要項をご確認ください



《応募期間》

2025年2月25日（火）
WEB申請

□木口福祉財団

2025年度地域福祉振興助成

《目的》

障がい者等を支援する福祉活動やボランティア活動に対する助成を通じてやさしく住みやすい地域社会の創造に資する事。

《対象事業》

障がいにより福祉・生活課題等を抱える方々の支援を目的とする事業。

①企画開催②物品購入③工事④車両購入から一つを選択すること。

（具体例）

- ・障がい者の送迎・移送用の車両の購入費
- ・障がい者就労継続支援事業所を開設するための改装工事費
- ・録音図書作成のための録音機材の購入費
- ・福祉活動従事者を育成する研修会の企画開催費

など

《助成金額》

- ①②は1件あたりの上限額100万円
- ③は1件あたりの上限額150万円
- ④は1件あたりの上限額200万円

《応募方法》

WEB申込 |

https://kiguchi.or.jp/jyoseijigyou/jyosei_program/

《応募・問合せ先》

公益財団法人木口福祉財団
〒659-0051 兵庫県芦屋市呉川町14-10
TEL: 0797-21-5150 FAX: 0797-35-4500
HP <http://kiguchi.or.jp/>
mail josei@kiguchi.or.jp



助成金の報告時、申請時のポイント

そろそろ年度の助成金の報告の時期になりますよね。申請時もそうですが、事業内容や報告内容をどうまとめて文章にしようか、頭を悩ませるところです。もちろんそこが大事なところですが、さらにチェックしておくのは添付書類。要項に則った内容のものかの確認も含めて提出漏れのないようにしてください。わからないことは、助成団体に尋ねましょう。丁寧に説明してくれるはずですよ。